

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん揚げすぎて焦点化できなくならないように、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成時に要する期間
1	48	今より施設全体が明るくなり、入居者様の笑顔が増え、ご家族様が気軽に訪ねて行きやすい環境を整備する必要がある	①入居者様の個別ケアの充実を図り、施設の何処にいても不安なく、職員、他入居者や面会者との交流を楽しみ生活意欲が向上できる	①お一人お一人の入居者様が笑顔でゆとりを持ち行なえるレクリエーションや作業を見直し、職員全員が共有する ・負担のない個別の脳レクを毎日続ける事ができる ・入居者様が楽しみを共有できるレクリエーションを毎日取り入れる ・ゆとりの時間を不安なく過ごせるように個々の入居者様に応じたケアを行う *居室で臥床(お昼寝など)時間を設ける *他者と交流が図りやすい環境作りや好まれるテレビやビデオが観られるように支援する *落ち着きなく不安な様子が見受ける方には必ず職員が寄り添い不安の軽減を図る	2ヶ月
			②ご家族様に対し歓迎の意志表示をわかる形で表現する	①大きな声でお迎えの挨拶をする ②お部屋に案内し、お茶に加えて必ずお菓子を出す ③面会時、情報提供可能な方には、日常の様子などをお話させて頂くなど職員が面会者の方とお話をさせて頂く時間を設け、希望する支援や不安に思われている事などが無いか等ご家族様が職員に要望など伝えやすい環境を整備する	3ヶ月
			③全職員が生き生きと職務に就き、入居者様やご家族様に活気を感じて頂けるようになる	①全職員が繰り返し接遇、認知症などの研修に参加し、個々の社会人、介護職員としての質を高める *各自が受講した研修内容が伝達でき、研修内容を職員全員に周知し全体のレベルUPを図る ②職員間で個々の能力を把握し、協力体制を強化する	12ヶ月